

臨床倫理コンサルテーション依頼書 4分割表書き方ガイド

医療者側が「医学的に最善」と考えている方針 Medical Indications

診断や予後など、患者の治療に関する医学的な情報を書きます。

例えば・・・

- 治療が成功する確率はどのくらいですか？
- 治療を行った場合の生命予後、機能予後、QOL予後はどのくらいと考えますか？
- 治療にあたりどのような副作用や合併症が考えられますか？
- 治療に伴う患者さんの苦痛や身体的負担はどの程度ですか？
- 治療が奏効しなかった場合の計画はありますか？
- 治療を行わなかった場合の生命予後、機能予後、QOL予後はどのくらいと考えますか？



「患者さんが最も望んでいる」と考えられること Patient Preference

治療方針に関する患者さんの意向を書きます。

もしそれがなければ患者さんの事前指示（アドバンス・ディレクティブ）を書きます。

それもない場合には、家族等の代理意思決定者から聴取した患者さんの推定意志を書きます。

それもわからない場合には代理決定者が患者さんにとって最善と考える判断を記します。

まずは・・・

患者さんに意志決定能力はありますか？

（意志決定能力がない場合）

代理意思決定者は誰ですか？代理意思決定者は妥当な方ですか？

それから・・・

- 患者さんは何を大切に考えて生きてこられた方ですか？
- 患者さんにとって死ぬよりつらい状況とは？

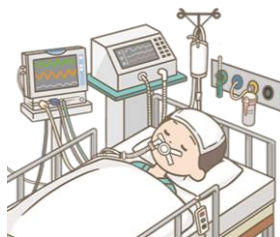


患者さんのQOL（身体的充足度・精神的満足度） Quality of Life

患者の生活の質について書きます。一人で歩けるかどうか、着替えや洗面などを自分でできるかどうかといった記述的側面と、それらが当人の生活の質をどの程度上げたり下げたりしているかという評価的側面に分かれます。

例えば・・・

- 患者さんは元どおりの生活を送ることができますか？
- 治療が成功しても、患者さんが身体的、精神的、社会的に失うことはありますか？
- 治療をやめる計画、緩和ケアへ移行する計画はありますか？



「ご家族の意向」、周囲の状況・環境要素 Contextual Features

患者や家族の事情、法的問題など、ほかのマスには入らなかった様々な状況について書き入れます。

例えば・・・

- 財政的要因・経済的要因、宗教的・文化的要因はありますか？
- 家族や親戚の利益の問題はありますか？
- 医療者や病院の利益の問題はありますか？
- 該当する法律・ガイドライン、院内指針がありますか？

